

くすりのしおり

内服剤

2019年10月作成

薬には効果（ベネフィット）だけでなく副作用（リスク）があります。副作用をなるべく抑え、効果を最大限に引き出すことが大切です。そのために、この薬を使用される患者さんの理解と協力がが必要です。

商品名：ピコスルファートナトリウム内用液 0.75% 「JG」

主成分：ピコスルファートナトリウム水和物 (Sodium picosulfate hydrate)

剤形：無色～微黄色の澄明な液剤

シート記載：



この薬の作用と効果について

大腸の運動を促し、腸からの水分吸収を阻害して便を出しやすくします。

通常、各種便秘症、術後排便補助、造影剤（硫酸バリウム）服用後の排便促進、手術前や大腸検査（X線・内視鏡）前処置における腸管内容物の排除に用いられます。

次のような方は使う前に必ず担当の医師と薬剤師に伝えてください。

- ・以前に薬を使用して、かゆみ、発疹などのアレルギー症状が出たことがある。急性腹症の疑い、腸管閉塞またはその疑いがある。
- ・妊娠または授乳中
- ・他に薬などを使っている（お互いに作用を強めたり、弱めたりする可能性もありますので、他に使用中の一般用医薬品や食品も含めて注意してください）。

用法・用量（この薬の使い方）

- ・あなたの用法・用量は（：医療担当者記入）
- ・各種便秘症：通常、成人は1回10～15滴（主成分として5～7.5mg）、小児は6ヵ月以下2滴（1mg）、7～12ヵ月3滴（1.5mg）、1～3歳6滴（3mg）、4～6歳7滴（3.5mg）、7～15歳10滴（5mg）を1日1回服用します。
術後排便補助：通常、成人は1回10～15滴（主成分として5～7.5mg）を1日1回服用します。
造影剤（硫酸バリウム）服用後の排便促進：通常、成人は1回6～15滴（主成分として3～7.5mg）を服用します。
手術前における腸管内容物の排除：通常、成人は1回14滴（主成分として7mg）を服用します。
大腸検査（X線・内視鏡）前処置における腸管内容物の排除：通常、成人は検査予定時間の10～15時間前に20mL（主成分として150mg）を服用します。
いずれの場合も年齢・症状により適宜増減されます。必ず指示された服用方法に従ってください。
- ・大腸検査前処置を行う場合は、水を十分に飲んでください。また、自宅で大腸検査前処置を行う場合には、副作用があらわれた場合には対応が困難なことがありますので、一人での服用は避けてください。
- ・点眼剤ではないので、目には使わないでください。
- ・飲み忘れた場合は、便秘の場合はすぐに飲まないで、指示された時間に飲んでください。大腸検査前処置の場合は医師の指示に従ってください。それ以外の場合は気がついた時にできるだけ早く1回分を飲んでください。絶対に2回分を一度に飲んではいけません。
- ・誤って多く飲んだ場合は医師または薬剤師に相談してください。
- ・医師の指示なしに、自分の判断で飲むのを止めないでください。

生活上の注意

この薬を使ったあと気をつけていただくこと（副作用）

主な副作用として、腹痛、吐き気、嘔吐、腹部膨満感、下痢、じん麻疹、発疹などが報告されています。このような症状に気づいたら、担当の医師または薬剤師に相談してください。

まれに下記のような症状があらわれ、[]内に示した副作用の初期症状である可能性があります。

このような場合には、使用をやめて、すぐに医師の診療を受けてください。

- ・排便停止、腹痛、吐き気・嘔吐 [（大腸検査前処置の場合）腸閉塞、腸管穿孔]
- ・急激な腹痛、下痢、発熱 [（大腸検査前処置の場合）虚血性大腸炎]

以上の副作用はすべてを記載したものではありません。上記以外でも気になる症状が出た場合は、医師または薬剤師に相談してください。

保管方法 その他

- ・乳幼児、小児の手の届かないところで、直射日光、高温、湿気を避けて保管してください。
- ・薬が残った場合、保管しないで廃棄してください。

医療担当者記入欄

年 月 日

より詳細な情報を望まれる場合は、担当の医師または薬剤師におたずねください。また、医療専門家向けの「添付文書情報」が医薬品医療機器総合機構のホームページに掲載されています。